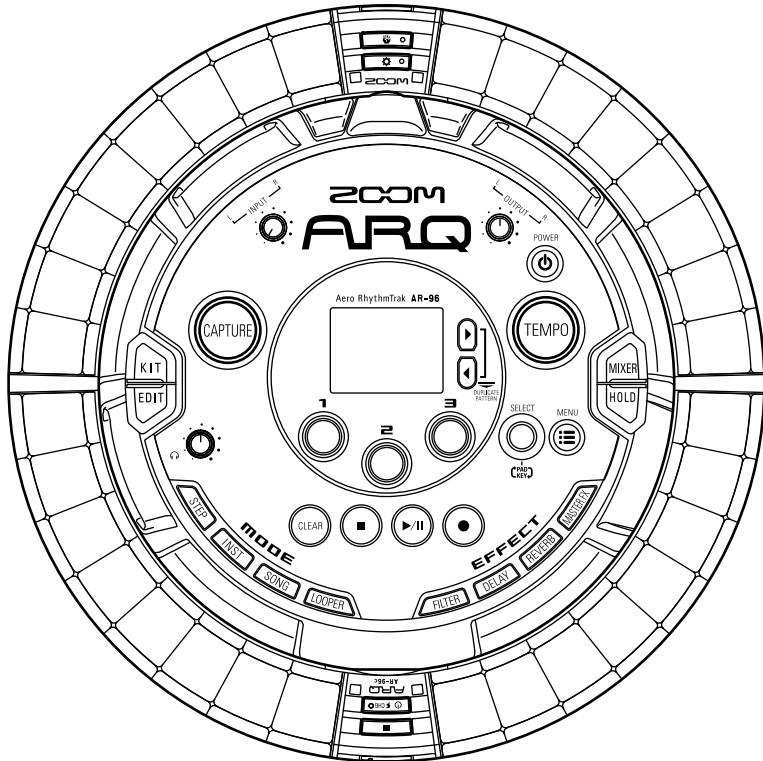


ZOOM®

ARQ Aero RhythmTrak AR-96



Version 2.0 クイックマニュアル

オペレーションマニュアルはZOOMのWebサイト (www.zoom.co.jp) からダウンロードできます。

© 2017 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

目次

用語の説明	3	SONG モード	
		SONG モードの概要	24
概 要		操作の流れ	25
各部の名称	4	キャプチャー	
AR-96 の使い方	7	キャプチャーの概要	26
リングコントローラーについて	8	操作の流れ	27
外部機器との接続	10	LOOPER モード	
モードの切り替え	11	LOOPER モードの概要	28
インストールメントについて	12	操作の流れ	29
準 備		その他の機能	
電源の ON/OFF	14	エディット（音色の編集）	30
SD カードのセット	16	エフェクト	30
INST モード		ミキサー	30
INST モードの概要	17	アルペジエーター	30
操作の流れ	19		
STEP モード		製品仕様	31
STEP モードの概要	21		
操作の流れ	23		

用語の説明

パターン

数小節からなる短い曲の部品です。パターンはシーケンス（演奏情報）とKIT（音色セット）から構成されます。また、リングコントローラーを使ったパラメーターのコントロールやクオンタイズの設定などもパターンごとに保存されます。

AR-96には様々な音楽ジャンルを網羅したプリセットパターンが登録されています。

ソング

複数のパターンを組み合わせ、ひとつの楽曲として構成したものをいいます。

ステップ

シーケンスに入力できる最短の音符の長さです。

通常では1小節を16分割した長さになっており、16分音符単位で発音ポイントを設定することができます。設定で長さを変更することも可能です。

シーケンス

さまざまな音を発音するポイントを記録する演奏データです。

AR-96には、シーケンスを1ステップ単位で記録するSTEPモードと、パッドをリアルタイムで演奏して記録するINSTモードがあります。

インストゥルメント

音を構成する最小単位です。ドラムセット、パーカッション、ベース、シンセサイザーなど様々な音源があらかじめ用意されています。また、パソコンでSDカードに保存したWAVファイルもインストゥルメントとして使用できます。

音色の選択に加え、発音するときの音の立ち上がりや持続する時間（エンベロープ）、フィルター、エフェクトなどのさまざまな設定が各インストゥルメントに用意されています。

KIT

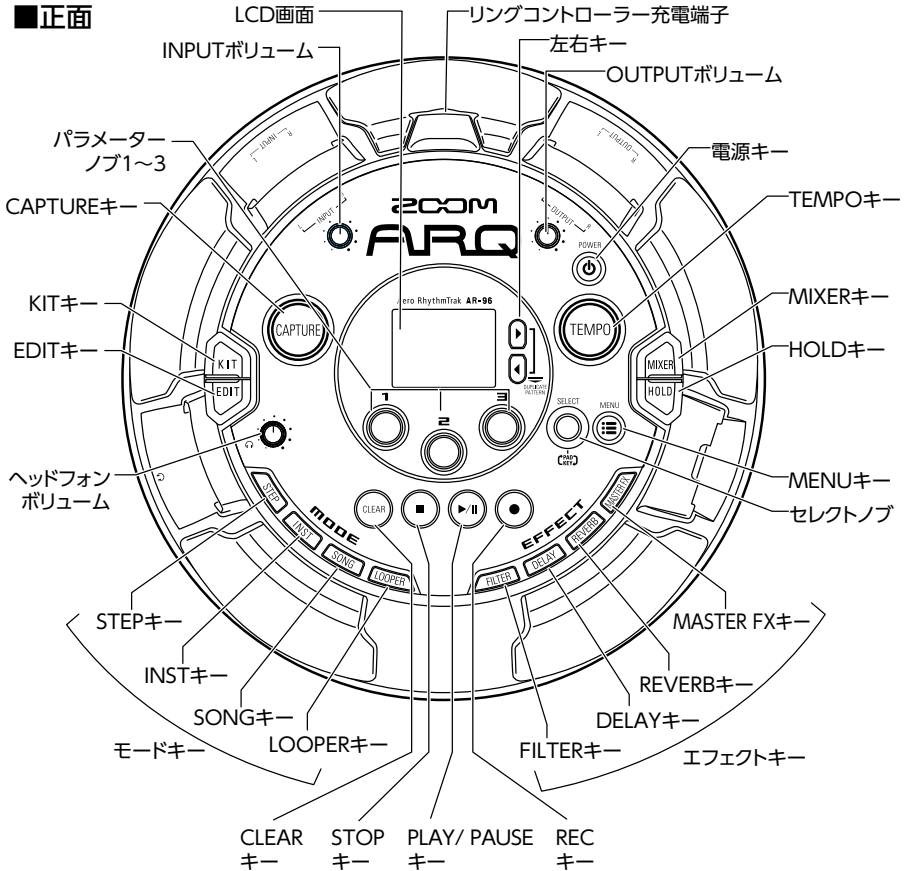
1つのパターンには、最大で33のインストゥルメントを使用することができます。このインストゥルメントの集まりをKITといいます。1つのパターンで作成したKITは、他のパターンにコピーが可能です。

概要

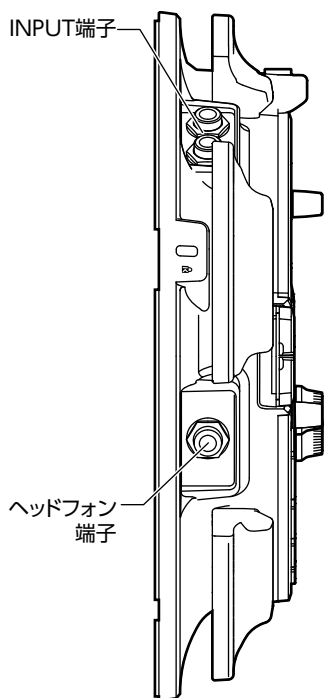
各部の名称

ベースステーション

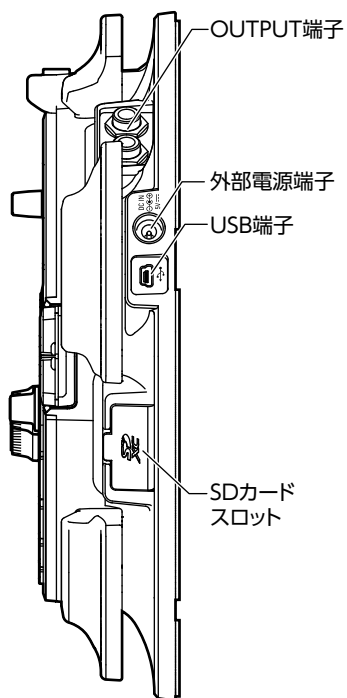
■正面



■左側面

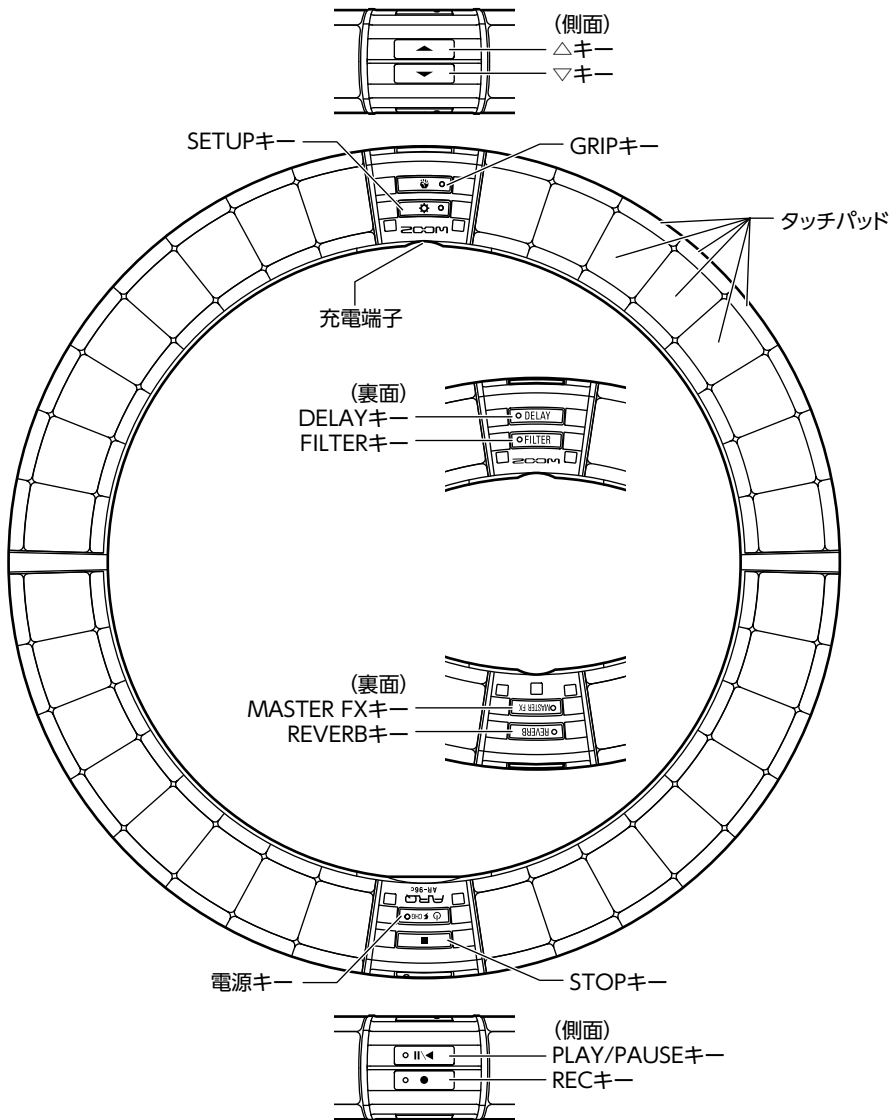


■右側面






各部の名称のつづき

リングコントローラー

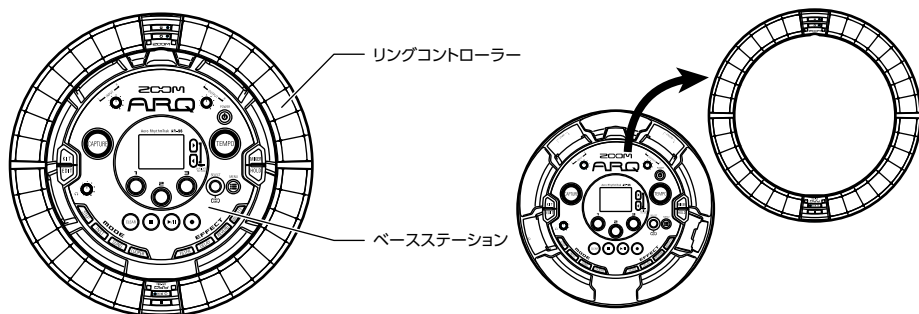


HINT

- ・リングコントローラーのキーを使用して、ベースステーションのキーと同じ操作ができます。
- ・リングコントローラーの  は、ベースステーションの  に対応します。
- ・リングコントローラーの  を押すと、ベースステーションのLCD画面に電池残量が表示されます。

AR-96の使い方

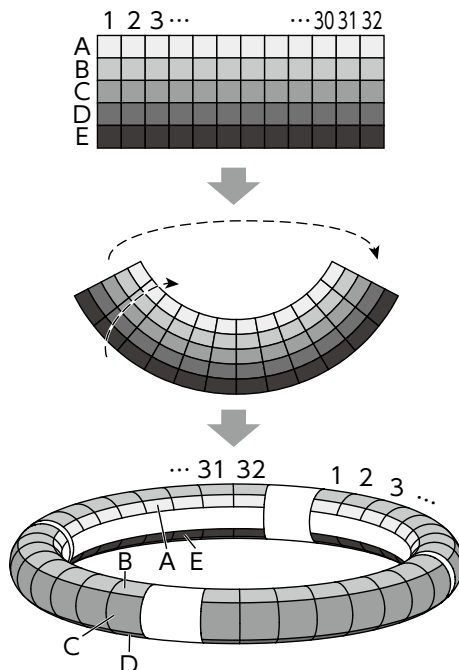
AR-96は、ベースステーションとリングコントローラーから構成されています。



ベースステーションでは、曲の作成や保存、音色の編集などができます。リングコントローラーは曲を作成するときの入力に使用します。

さらにリングコントローラーは着脱可能になっており、手に持って楽器のように演奏したり、MacやiOS機器と無線接続し、MIDIコントローラーとして使用することもできます。

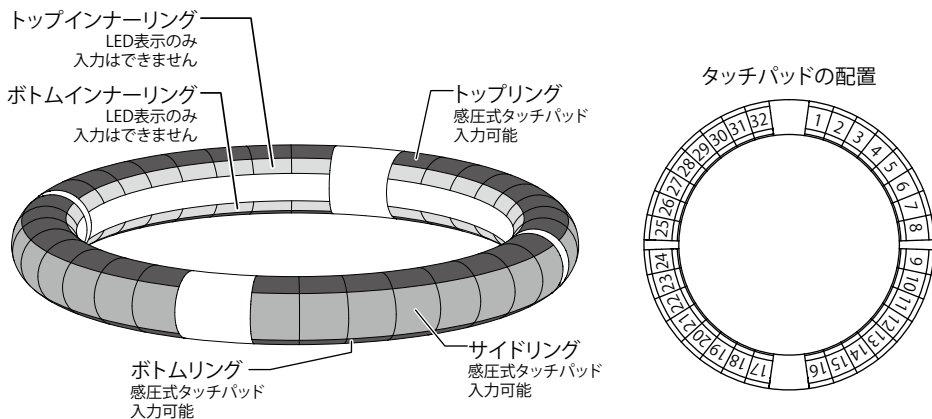
リングコントローラーには、32ブロック×5列のLEDマトリックス（タッチパッド3列、表示のみ2列）を搭載しています。2次元のマトリックスをフープ形状の表面に立体的に配置したことにより、コンパクトなサイズでありながら全体を確認しての操作が可能です。



リングコントローラーについて

AR-96のリングコントローラー表面には5つのリング状のエリアがあり、上面（トップリング）、側面（サイドリング）、底面（ボトムリング）にはそれぞれ32個の感圧式タッチパッドが配置されています。

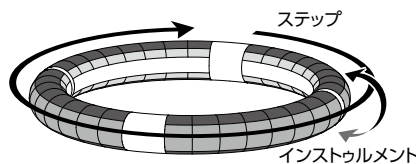
このタッチパッドを使用して、曲の入力や編集、リアルタイム演奏などを行うことができます。



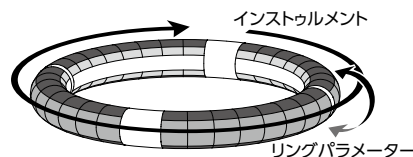
機能の割り当てについて

リングコントローラーのリングやパッドには、操作状況やモードに応じてさまざまな機能が割り当てられます。

例：STEPモードのPADレイアウト：それぞれのリングは5つ（ガイドライン表示時は3つ）のインストゥルメントのシーケンスを表し、各リングのそれぞれのパッドは1～32までのステップに対応します。



例：INSTモードのPADレイアウト：各パッドが1～32までのインストゥルメントに対応し、それぞれのリングには異なるパラメーター設定を割り当てられます。



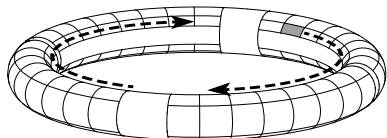
HINT

入力方式は各モードによって異なるため、詳細は各操作の説明ページを参照してください。

プレイバックポジション

パターンやソングなどを再生する時は、現在再生中のステップ位置に対応するトップインナーリング・ボトムインナーリングのLEDが緑に点灯します。

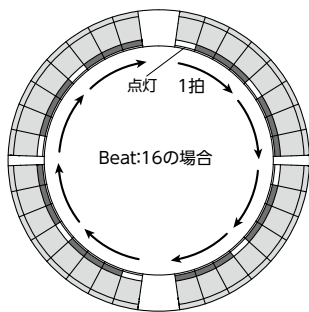
また、INST モードなどでリアルタイム入力を行う場合は、LED が赤く点灯します。




ガイドライン

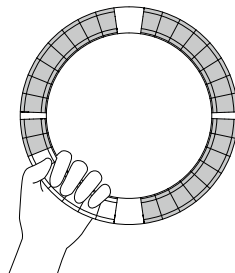
STEP モードでトップインナーリング・ボトムインナーリングのLED表示を1拍ごとに点灯させ、ステップレコーディングの補助にすることができます。

設定方法はオペレーションマニュアルを参照してください。



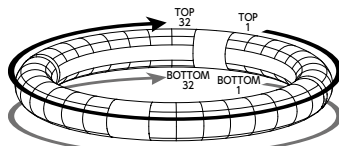
グリップエリア

リングコントローラーをベースステーションから取り外して操作するとき、意図せずにパッドが押されてしまうことを防ぐために、タッチに反応しないグリップエリアを設定することができます。グリップエリアは  を押し、任意の範囲を握ることで自動的に設定されます。



リングコントローラーの反転

リングコントローラーの電源キー側とエフェクトキー側を逆向きに置くと、各リングに割り当てられた機能やLED表示の上下および回転方向が切り替わります。これによって、上から見た場合、リングコントローラーは常に時計回りで、上面側をトップリングとして使用できます。

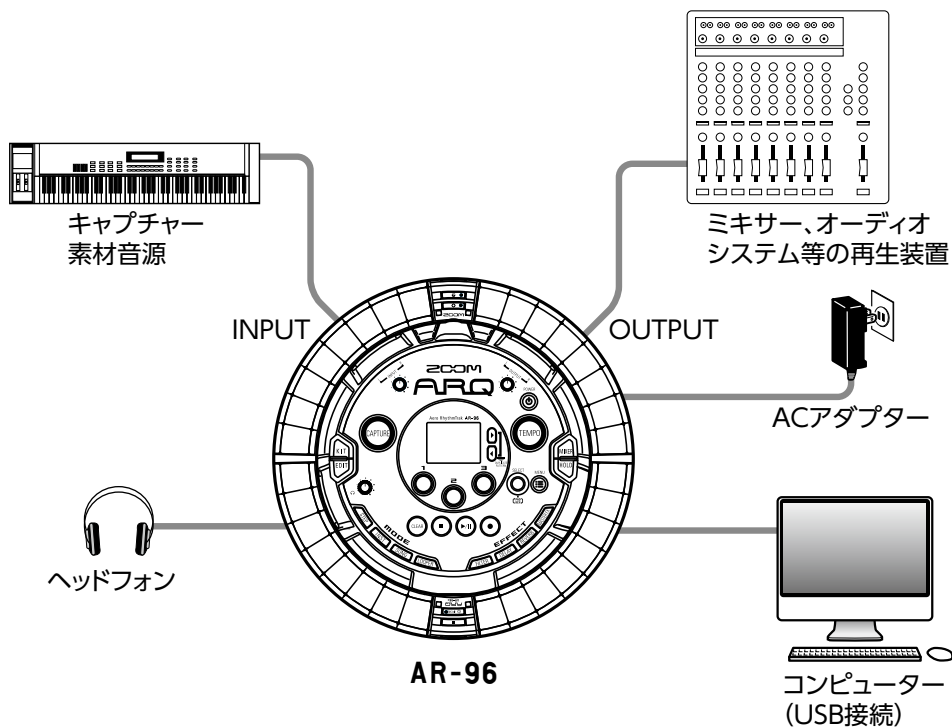


上下を逆に置いても、同様に使用できます

NOTE

グリップエリアが設定されている場合は、リングコントローラーは反転しません。

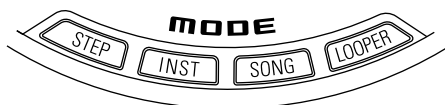
外部機器との接続



モードの切り替え

AR-96では、パターンを作成し、それらを複数組み合わせることで曲を作成できます。

AR-96での編集作業は、主に下記の4つのモードを使用し、それぞれを切り替えることでパターン作成と曲の作成を行き来しながら行うこととなります。



パターンを作成する方法には、STEPモードとINSTモードの2種類があります。

- STEPモード…ステップ単位でインストールメントの発音ポイントを記録し、パターンを作成します。

- INSTモード…リアルタイムでパッドを叩いて演奏した結果をパターンとして記録します。

一方、曲の作成にはSONGモードまたはLOOPERモードを使用します。

- SONGモード…リアルタイムでパターンを切り替えて演奏し、その結果を記録して曲を作成します。
- LOOPERモード…INPUT端子に接続された機器からの音声入力、パターンやソングなどをオーディオとしてキャプチャーしたデータや、SDカードから読み込んだWAVファイルなどを素材として、ルーパーシーケンスを組み立て、曲を作成します。

パターンの作成

パターンを作り登録します

STEPモード

ステップ単位で入力してパターンを作成します

INSTモード

リアルタイムで演奏してパターンを記録します

SONGモード

作成したパターンを組み合わせて曲を作ります

LOOPERモード

ソングや外部入力をキャプチャーしたオーディオループ、PCMファイルの音声などを使って曲を作ります

曲の作成

パターンなどを組み合わせ曲を構成します


インストゥルメントについて


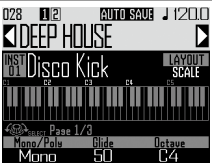
AR-96は、1つのKITにつき最大33の音源を使用できます。その1つずつをインストゥルメントと呼び、ドラムなどの波形データ、SDカードから読み込んだWAVファイル、または内蔵のシンセサイザーを発音できます。インストゥルメントには、音色（オシレーター）だけでなく発音するときの音の立ち上がりや持続する時間（エンベロープ）、フィルターの設定、エフェクト、パッドの色など様々な設定があります。

インストゥルメントには1～33のインストゥルメント番号が割り当てられます。EDITモードやSTEPモードでは、選択された番号のインストゥルメントに対して音色やシーケンスの編集ができます。

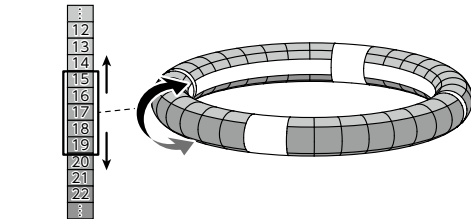
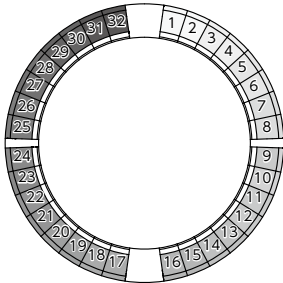
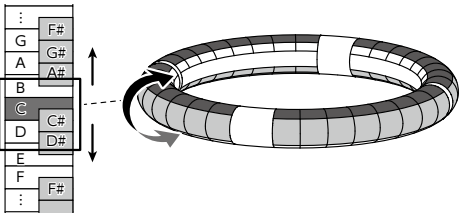
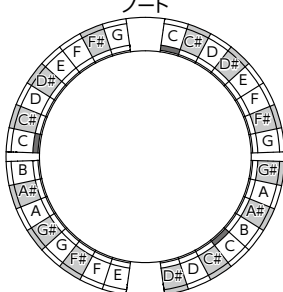
HINT

インストゥルメント番号33は**AR-96** Version 1.00のKEYレイアウトで使用していたインストゥルメントです。STEPモードでのみ編集することができます。

AR-96のリングコントローラーには以下の2つのレイアウトがあり、STEPモード及びINSTモードで  を押すと切り替えることができます。どちらのレイアウトの場合も、16音まで同時発音できます。

PADレイアウト	最大で32のパッドそれぞれに異なるインストゥルメントを割り当てて演奏できるモードです。パッド1～32にはそれぞれ番号1～32のインストゥルメントが割り当てられます。 また、LCD画面には選択されたインストゥルメントが表示され、対応したパッドは白く点灯します。	
SCALEレイアウト	PADレイアウトで選択したインストゥルメントを、音階をつけて演奏するモードです。パッドの並びがキーボードのように音階順になり、リングコントローラーのLEDは白鍵が淡い色、黒鍵が濃い色で点灯します。また、メジャー、マイナーなどのスケールを設定することも可能です。 AR-96 Version 1.00とは異なり、1～32のいずれのインストゥルメントも、SCALEレイアウトに切り替え可能です。 PADレイアウトでパッドを叩いた時に発音するノート（音階）はC4になります。	

インストゥルメントのリングコントローラーへの割り当ては、STEP モードと INST モード、PAD レイアウトと SCALE レイアウトでそれぞれ異なります。

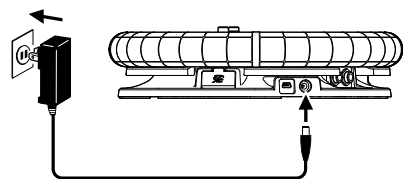
	STEP モード	INST モード
PAD レイアウト	<p>インストゥルメントNo.</p> 	<p>インストゥルメントNo.</p> 
SCALE レイアウト	<p>ノート</p>  <p>※クロマティックの場合</p>	<p>ノート</p>  <p>※サイドリング、ボトムリングにも同じノートが割り当てられます。</p>

準備

電源の ON/OFF

ベースステーションの電源

1. ベースステーションに、付属の AC アダプターを接続する



2. ベースステーションの **POWER** を長押しする

3. 電源を OFF にするには、**POWER** を長押しする

HINT

リングコントローラーがスリープ状態でベースステーションに接続されている場合は、ベースステーションの電源 ON/OFF にリングコントローラーの電源が連動します。

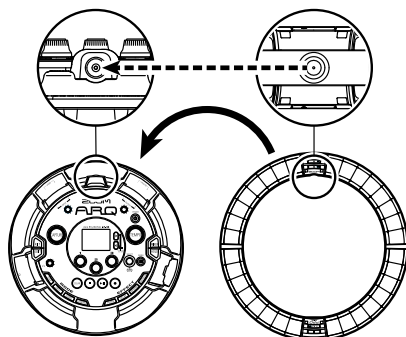
NOTE

AR-96 をパソコンなどと USB 接続する場合も、電源供給には AC アダプターを使用してください。

リングコントローラーの電源

■リングコントローラーを充電する

1. リングコントローラーをベースステーションに設置する



それぞれの充電端子の向きを合わせて設置してください。

充電が開始され、リングコントローラーの **CHG** の LED が点灯します。

充電中 (電源 OFF・スリープ)	赤
充電しながら使用中	オレンジ
バッテリーで使用中 (電池残量 12%以上)	緑
バッテリーで使用中 (電池残量 12%未満)	緑点滅

HINT

- ・ベースステーションが OFF になっていても、電源に接続された状態であればリングコントローラーを充電できます。
- ・リングコントローラーの **CHG** を押しと LCD 画面にリングコントローラーの電池残量が表示されます。

電源の ON/OFF のつづき


■リングコントローラーをスリープ状態にする

リングコントローラーが充電されているときは、電源が OFF にならず、スリープ状態になります。

1.   を長押しする

2.  スリープ状態を解除するには、 を長押しする

HINT

スリープ中は、リングコントローラーの  の LED が赤点灯 (充電中) / 赤点滅 (充電していない時) します。


■リングコントローラーの電源を OFF にする

リングコントローラーの電源を OFF にするには、リングコントローラーが充電されていない状態で操作を行います。

1.  充電していないときに 7 秒以上  を長押しする

2.  電源を ON にするには、 を長押しする

NOTE

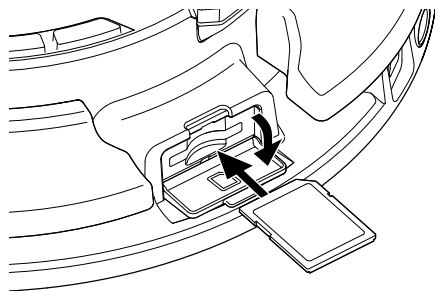
- ・電源が OFF になると  の LED が消灯します。
- ・電源が OFF になっていても、充電を開始するとリングコントローラーは自動的にスリープ状態になります。

SD カードのセット

■SD カードの取り付け・取り外し

1. 電源を OFF にする
2. ベースステーションの SD カード
スロットカバーを開ける
3. スロットに SD カードを挿し込む

取り出したいとき：
SD カードを一度スロットの奥に押し込
んでから、引き抜く



NOTE

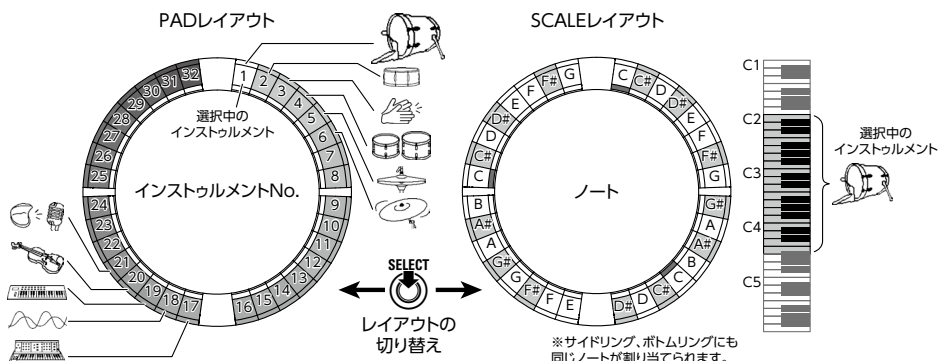
- ・ **AR-96** に SD カードを取り付けない場合、キャプチャーデータの保存や、作成したパターンやソングのバックアップ作成ができません。
- ・ SD カードを抜き差しするときは、カードの向きや裏表に注意してください。
- ・ 市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **AR-96** で初期化する必要があります。初期化の方法はオペレーションマニュアルを参照してください。

INST モード

INST モードの概要

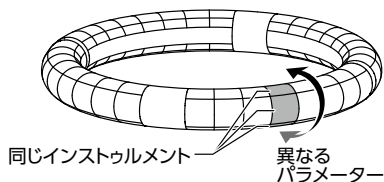
パッドを叩いて自由に演奏することができます。また、その演奏をリアルタイムに記録してパターンを作成することもできます。

このモードでは、リングコントローラーのリング方向のパッド 1 つずつが 1 つのインストゥルメント (PAD レイアウト) / ノート (SCALE レイアウト) に対応します。



PAD レイアウトのときは、C4 のノート (音階) で発音します。

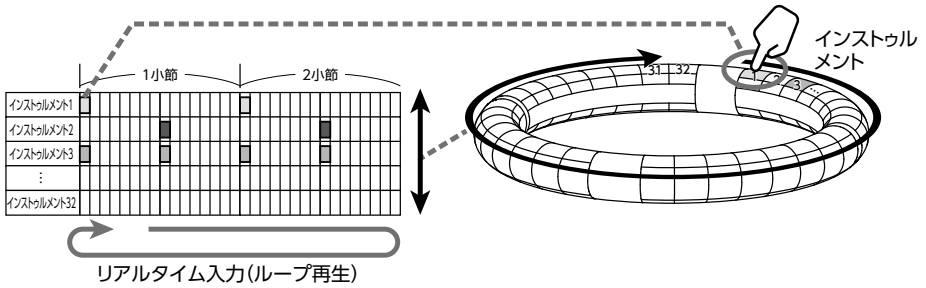
また、サイドリング、ボトムリングにそれぞれ異なるパラメーター設定を割り当て、音色を使い分けることができます。



INST モードの概要のつづき

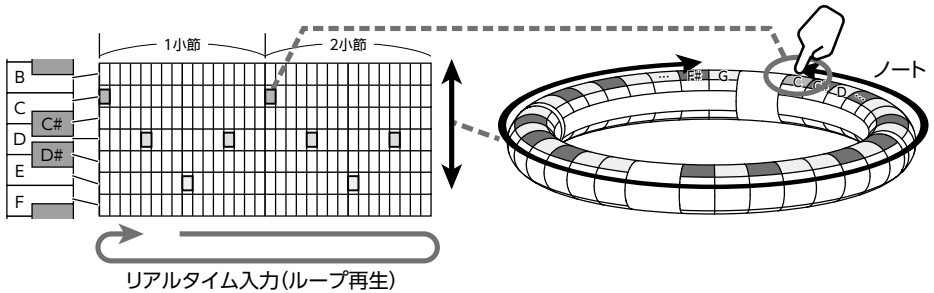
パターン作成…PAD レイアウトの場合：

リアルタイム入力を開始したら、入力するインストゥルメントのパッドを叩きます。
パターンはループ再生され、何度でも重ね録りが可能です。



パターン作成…SCALE レイアウトの場合：

リアルタイム入力を開始したら、入力するノートのパッドを叩きます。
インストゥルメント番号 1～32 のすべてに対して、音階をつけて入力することができます。



操作の流れ

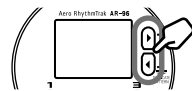
INSTモードに入る

INST を押して、INSTモードに入ります。



パターンを選ぶ

0 でパターン番号を選びます。

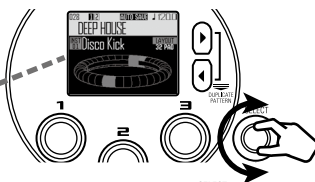
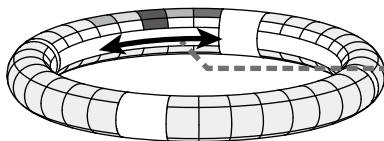


入力するインストゥルメントを確認する

パッドを叩いて、入力するインストゥルメントの音色を試聴することができます。

叩いたパッドのインストゥルメントは「選択された状態」となり、パッドが白く点灯します。LCD画面にはインストゥルメントの名前やパラメータが表示されます。

パッドを叩いてインストゥルメントの選択のみを行いたい場合、**INST** キーを押しながらパッドを叩くと発音しません。



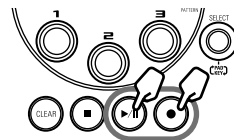
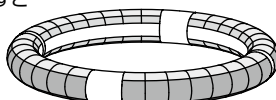
選択中のインストゥルメントをSCALEレイアウトで演奏する場合は

SELECT を押してレイアウトを切り替えます。

インストゥルメントは **0** でも選択できます。

入力を開始する

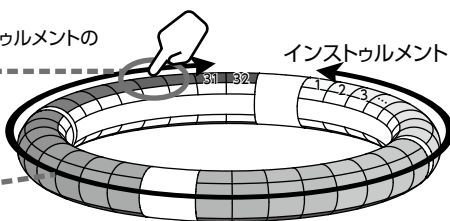
0 を押すとスタンバイ状態になり、**▶II** を押すとリアルタイム入力が始まります。



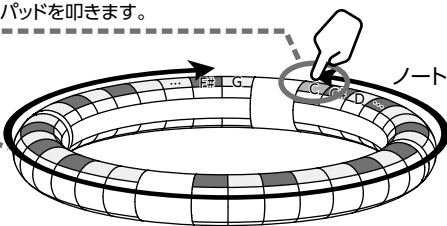
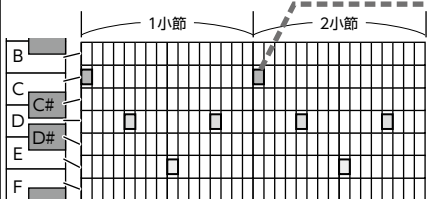
操作の流れのつづき

リアルタイム入力を開始する

PADレイアウトの場合:
ループ再生されるパターンに合わせて、入力するインストゥルメントの
パッドを叩きます。



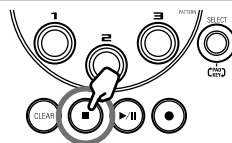
SCALEレイアウトの場合:
ループ再生されるパターンに合わせて、入力するノートのパッドを叩きます。



リアルタイム入力(ループ再生)

入力を終了する

■ を押すとリアルタイム入力が終了します。

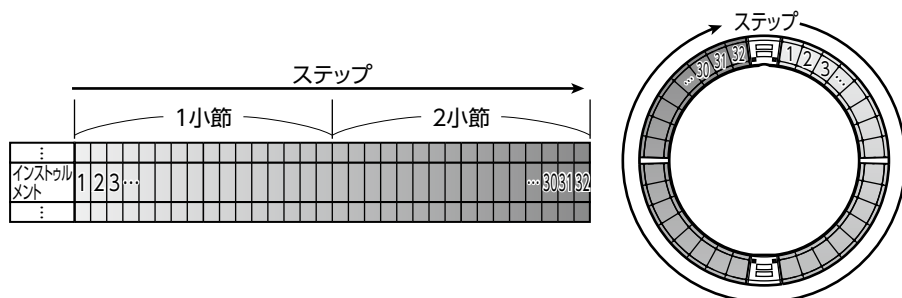


STEP モード

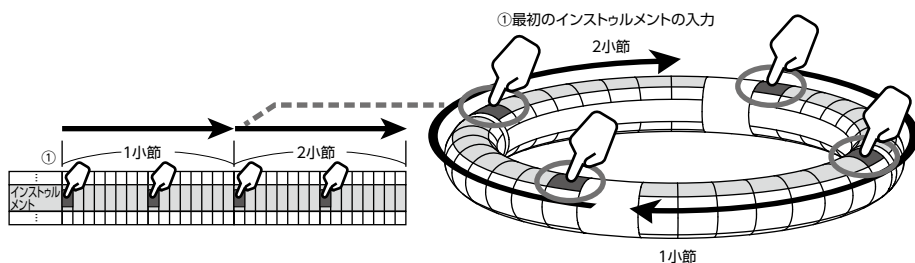
STEP モードの概要

STEP モードでは、パターンをステップ単位で入力して作成します。

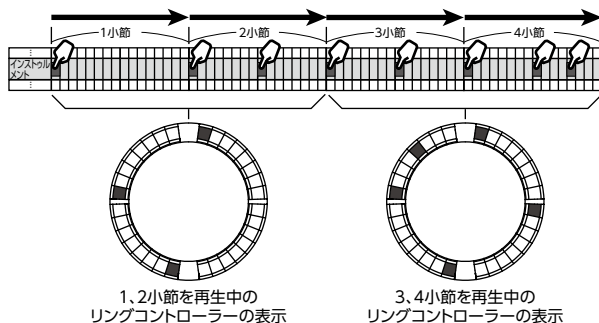
このモードでは、リングコントローラーのリング方向のパッド 1 つずつが 1 つのステップに対応します。



リングコントローラーの 1 周は 32 ステップに分割されているため、2 小節分のステップ入力をまとめて行うことができます (①) (最小ステップを 16 分音符にした場合)。




2 小節を超えるパターンの場合、リングコントローラーの表示は 2 小節ごとに切り替わります (最小ステップを 16 分音符にした場合)。

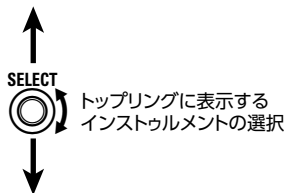
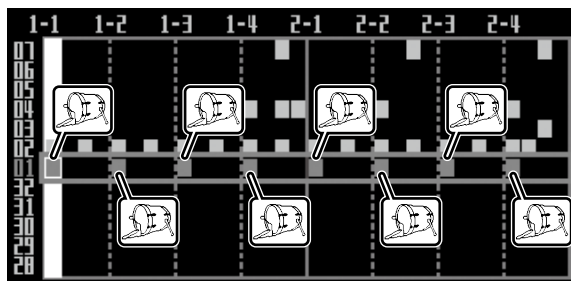


STEP モードの概要のつづき

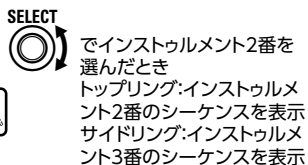
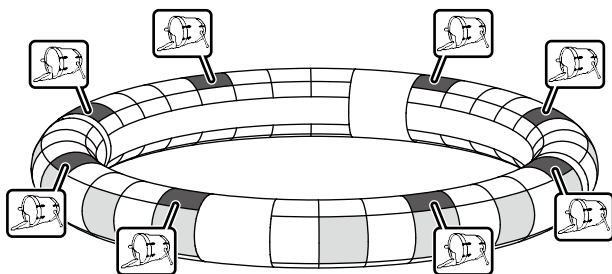
PAD レイアウトの場合：

リングコントローラーの5つ（ガイドライン表示時は3つ）のリングはそれぞれ異なるインストールメントを表示します。どのリングにどのインストールメントを表示させるかは、 で切り替えることができます。

複数のインストールメントをリングコントローラーに表示できるので、入力済みのインストールメントを確認しながら、次のインストールメントの入力を進められます。




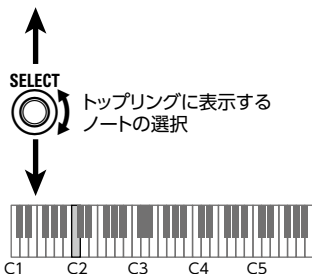
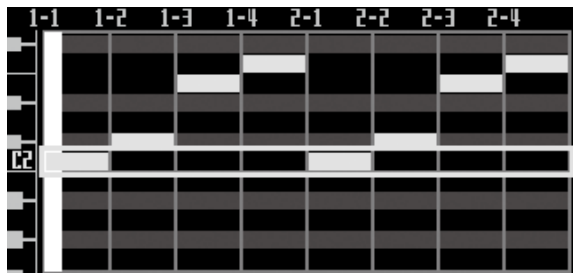
↑ トップリングに表示するインストールメントの選択



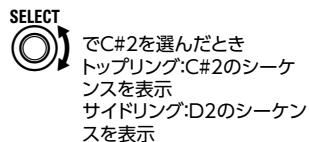
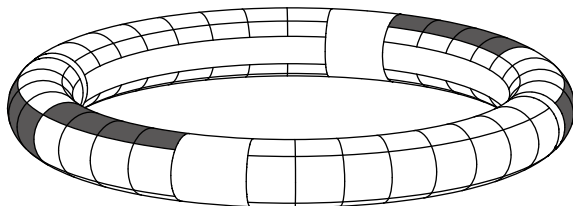
↑ でインストールメント2番を選んだとき
 トップリング:インストールメント2番のシーケンスを表示
 サイドリング:インストールメント3番のシーケンスを表示

SCALE レイアウトの場合：

 で入力するノートを選ぶことができます。



↑ トップリングに表示するノートの選択



↑ でC#2を選んだとき
 トップリング:C#2のシーケンスを表示
 サイドリング:D2のシーケンスを表示

操作の流れ

パターンを選ぶ

でパターン番号を選びます。



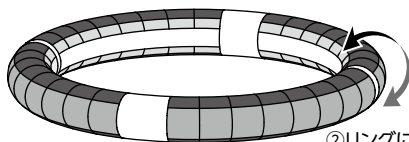
STEPモードに入る

STEP を押して、STEPモードに入ります。

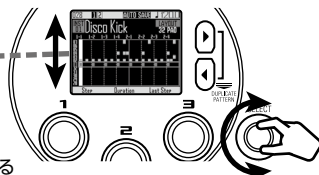


入力するインストゥルメントを選ぶ

SELECT で32のインストゥルメントの中から、入力に使用するインストゥルメントを選び、リングコントローラーのトップリングに移動させます。



②リングに表示される
インストゥルメント色が移動する



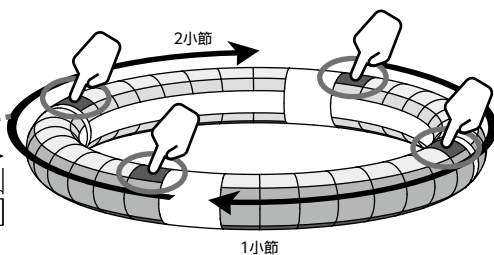
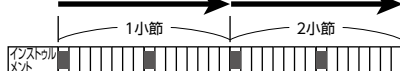
SCALEレイアウトで入力する場合は、SELECT を押してモードを切り替えます。

①入力するインストゥルメントを
SELECT で選択する

1つの入力が終わったら、別のインストゥルメントに切り替える

ステップ入力

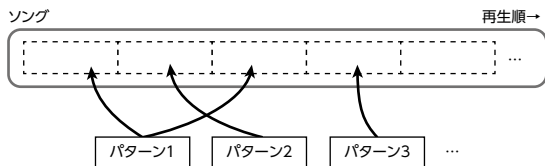
入力する位置のパッドを叩きます。



SONG モード

SONG モードの概要

SONG モードでは、作成した複数のパターンを組み合わせることで一つの曲（ソング）を完成させます。

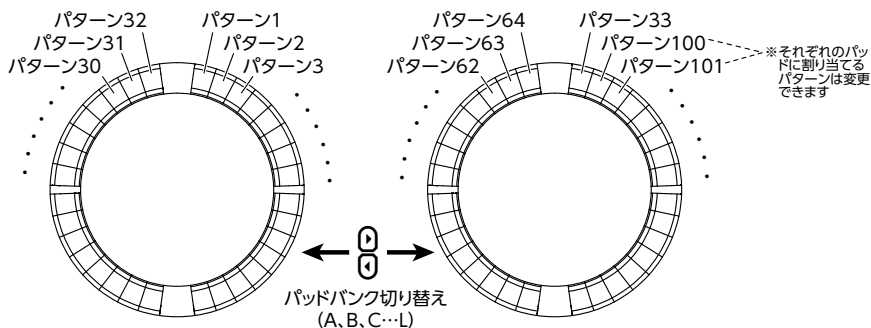


リングコントローラーのパッドには 32 のパターンを割り当てられます。

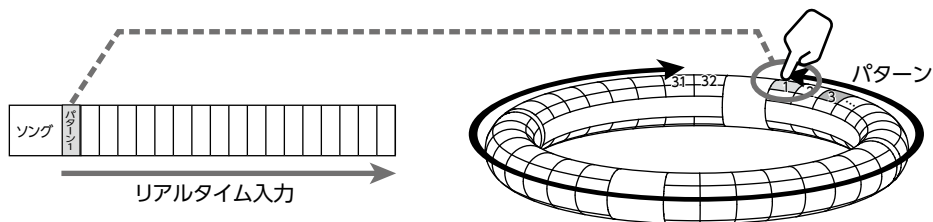
トップリング、サイドリング、ボトムリングはそれぞれ同じパターンが割り当てられます。

それぞれのパッドに割り当てるパターンは変更することが可能です。

また、SONG モードには A から L のパッドバンクが用意されており、バンクを切り替えることで異なる 32 のパターンをリングコントローラーに割り当てることができます。



準備ができればリアルタイム入力を開始し、再生するパターンのパッドを叩きます。



操作の流れ

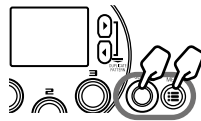
SONGモードに入る

SONGを押して、SONGモードに入ります。



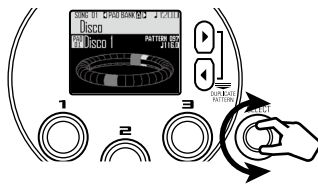
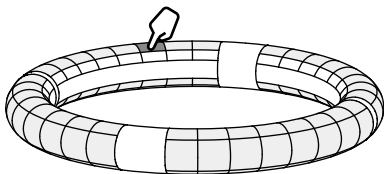
ソングを選ぶ

MENUを押して、**SELECT**でSong Sequence Listを選択します。ソングシーケンスリストの中から**SELECT**と**SELECT**でソングシーケンスを選びます。



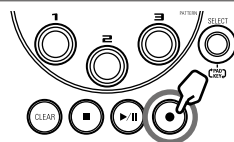
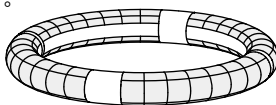
再生するパターンを選ぶ

必要に応じて、**Q**を押してパッドバンクを切り替えます。



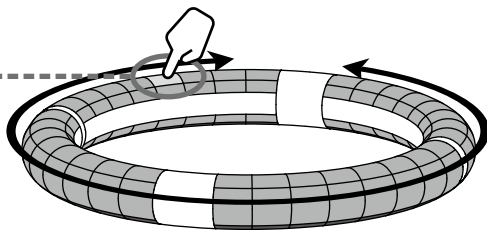
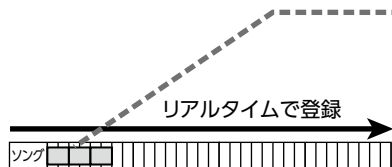
入力を開始する

ENTERを押すとリアルタイム入力が始まります。



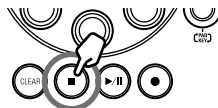
ソング作成

再生するパターンのパッドを叩き、リアルタイムで再生しながら登録します。



入力を終了する

STOPを押すとソングの入力が終了します。

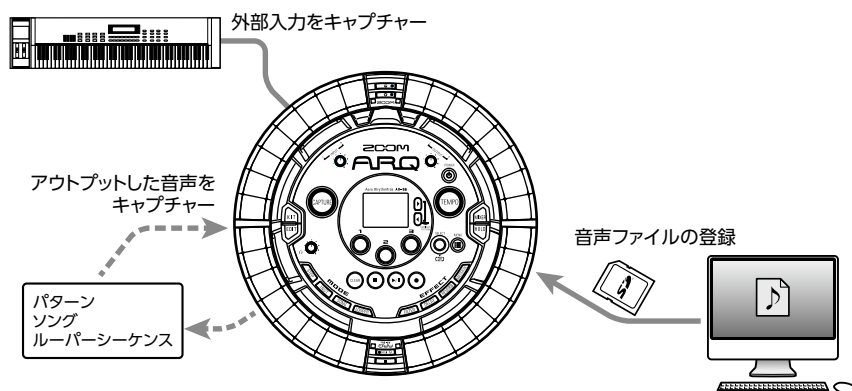


キャプチャー

キャプチャーの概要

AR-96 の各モードで再生中の音声や、INPUT 端子からの入力をキャプチャー（録音）できます。キャプチャーした音声はインストゥルメントとして使用したり、LOOPER モードで使用することができます。

また、SD カードに保存した WAV ファイルを、キャプチャーした音声と同様に使用することもできます。



HINT

- ・ LOOPER モードでは 96 個までのキャプチャーをパッドに割り当てて演奏することができます。
- ・ インストゥルメントとして使用できるキャプチャーは合計で 6 分（モノラルの場合 12 分）までとなります。

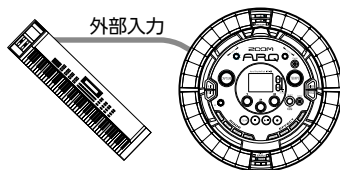
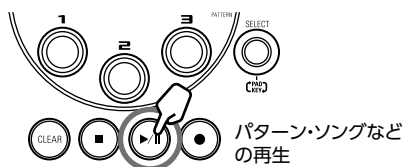
NOTE

キャプチャーした音声のデータは SD カード内に保存されます。SD カードを取り外したり、別の SD カードと入れ替えるとキャプチャーが使用できなくなりますのでご注意ください。

操作の流れ

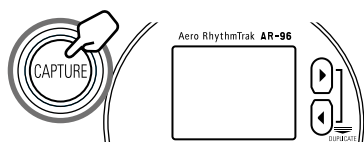
キャプチャー素材を再生する

- ・キャプチャー素材として使用するパターンやソングなどを再生します。
- ・INPUT 端子に接続した音源から入力します。



キャプチャーを開始する

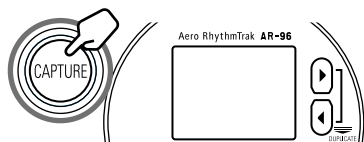
を押してキャプチャーを開始します。



キャプチャーを終了する

もう一度 を押してキャプチャーを終了します。

キャプチャー終了後に表示される設定画面で、パッドに割り当てて発音させる範囲などの設定を行うこともできます。



保存する

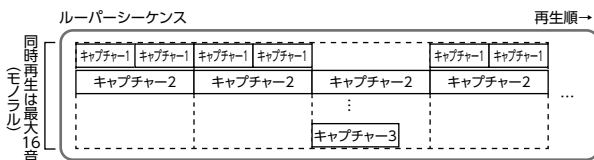
キャプチャーした音声をインストゥルメントとして使用するか、LOOPERモードで使用するかを選択し、保存します。
キャプチャー名の変更や、インストゥルメントやLOOPERモードで使わずにSDカードへの保存のみを行うこともできます。



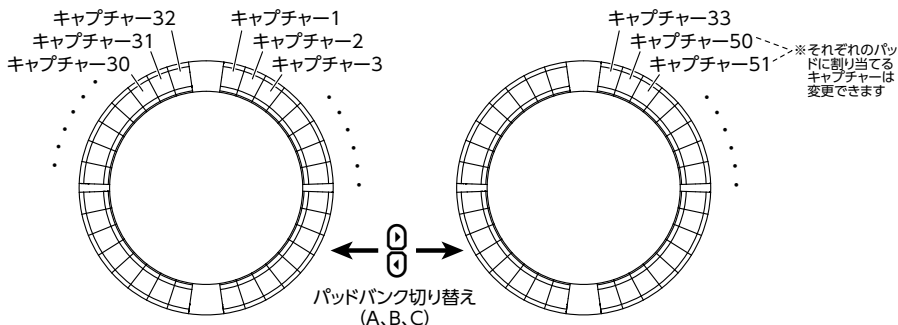
LOOPER モード

LOOPER モードの概要

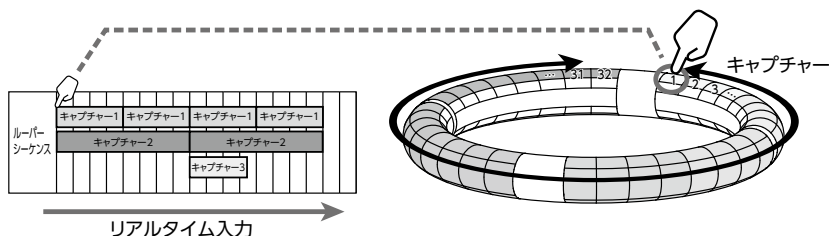
LOOPER モードでは、作成済みのパターンやソング、INPUT 端子からの入力、WAV ファイルなどのキャプチャー素材を組み合わせ、ルーパーシーケンスとしてひとつの曲にまとめることができます。



リングコントローラーのパッドには 32 のキャプチャーを割り当てられます。パッドに割り当ててるキャプチャーは変更することが可能です。また、トップリング、サイドリング、ボトムリングにはそれぞれ同じキャプチャーが割り当てられます。LOOPER モードには A、B、C のパッドバンクが用意されており、バンクを切り替えることで異なる 32 のキャプチャーをリングコントローラーに割り当てることができます。



準備ができたらリアルタイム入力を開始して、再生するキャプチャーのパッドを叩きます。最大で 16 のモノラルキャプチャーを同時に再生することができます。



HINT

キャプチャーの作成方法についてはキャプチャー (→ P.26) を参照してください。

操作の流れ

LOOPERモードに入る

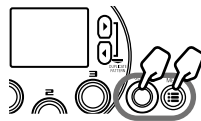
LOOPER を押して、LOOPERモードに入ります。



ルーパーシーケンスを選ぶ

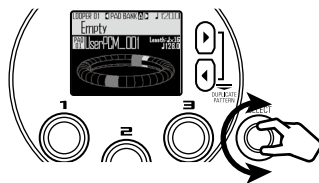
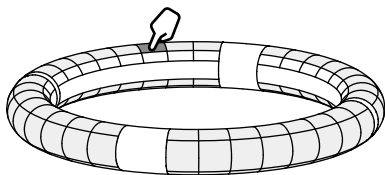
MENU を押して、SELECT で Looper Sequence List を選択します。

ルーパーシーケンスリストから SELECT と SELECT でルーパーシーケンスを選びます。



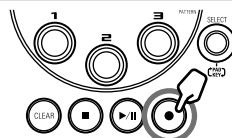
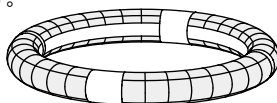
再生するキャプチャーを選ぶ

必要に応じて、P を押してパッドバンクを切り替えます。



入力を開始する

REC を押すとリアルタイム入力が始まります。

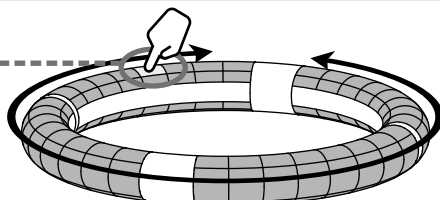


ルーパーシーケンス作成

再生するキャプチャーのパッドを叩き、リアルタイムで再生しながら登録します。

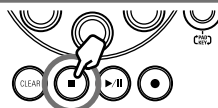
リアルタイムで登録

ルーパー シーケンス	キャプチャー-1	キャプチャー-1	キャプチャー-1	キャプチャー-1
	キャプチャー-2		キャプチャー-2	
			キャプチャー-3	



入力を終了する

STOP を押すとルーパーシーケンスの入力が終了します。

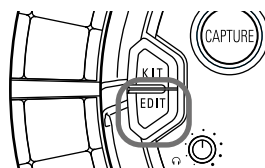


その他の機能

エディット（音色の編集）

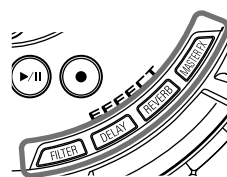
EDIT を押すと、オシレーターやノイズの種類、インサートエフェクト、レベル・パン、センドエフェクト、LFO、エンベロープなどを変更して、音色を編集することができます。

また、SONG モードではリングコントローラーの表示設定、LOOPER モードではキャプチャーの設定ができます。



エフェクト

FILTER、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押すと、パターン、ソング、ループシーケンスに、グローバルフィルター、ディレイ、リバーブ、マスターエフェクトをかけることができます。



ミキサー

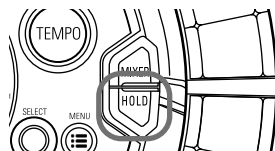
MIXER を押すと、パターン、ソング、ルーパーの作成中や再生中に、各インストゥルメントのミキシングを調節したり、ミュート・ソロなどの設定ができます。



アルペジエーター

パッドを押すと自動的にインストゥルメントを演奏する機能です。複数のパッドを押すと複数のインストゥルメントを順番に発音します。

SCALE レイアウトで和音を押さえることにより、和音を構成する音を一音ずつ発音させることができます。



HINT

各機能の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。

製品仕様

ベースステーション

入力	INPUT L/R	仕様 (コネクタ形状)	標準モノラルフォンジャック (アンバランス)
		入力ゲイン	+10 ~ -65 dB
		入力インピーダンス	50 k Ω
出力	OUTPUT L/R	仕様 (コネクタ形状)	標準モノラルフォンジャック (アンバランス)
		出力インピーダンス	200 Ω
	PHONES	仕様 (コネクタ形状)	標準ステレオフォンジャック 20 mWx2(32 Ω負荷時)
		出力インピーダンス	10 Ω
ダイナミックレンジ			ANALOG IN / AD : 92 dB typ (IHF-A) PHONE OUT / DA : 102 dB typ (IHF-A) MAIN OUT / DA : 106 dB typ (IHF-A)
記録メディア			SD カード 16 M ~ 2 GB SDHC 規格対応カード 4 G ~ 32 GB SDXC 規格対応カード 64 ~ 128 GB
MIDI IN/OUT			USB MIDI or MIDI over Bluetooth LE
電源			5 V 1 A AC アダプタ
消費電力			ベースステーション本体 : 最大 1.25 W リングコントローラー給電時 : 最大 4.5 W ※充電時の電力を含む
外形寸法			260.0 mm(D) x 260.0 mm(W) x 64.0 mm(H)
質量 (本体のみ)			990 g
表示器		LCD	2.0" フルカラーLCD(320x240)
インターフェイス	USB 2.0 (標準 USB MIDI)	対応 OS	Windows 7 (SP1) 以降、Windows 8 (8.1 含む) 以降、Windows 10 Mac OS X 10.8 以降
		要求スペック	USB2.0 が標準搭載されたチップセット、CPU Intel Core i3 以上
	MIDI over BLE	転送速度	最大 31.25 kbps (± 1 %)
		レイテンシー (対リングコントローラー)	5 ~ 12.5 ms

リングコントローラー

MIDI IN/OUT		MIDI over Bluetooth LE	
センサ		PAD 用感圧センサ、3 軸加速度センサ	
電源		リチウムポリマー充電電池(最大電圧 DC4.2 V、公称電圧 3.7 V、容量 450 mAh - 3.7 V)、ベースステーションから直接給電	
消費電力		電池動作時 : 最大 2 W	
充電時間		約 2.5 時間	
電池寿命		LED の明るさが Low の場合、約 4.5 時間 LED の明るさが High の場合、約 2.5 時間 (使用状況によって異なります)	
外形寸法		280.5 mm(D) x 280.5 mm(W) x 33.5 mm(H)	
質量 (本体のみ)		540 g	
トリガーパッド		パッド数	96 個
		ペロシティーカーブ	4 タイプ
インターフェイス	MIDI over BLE	対応 iOS 機器	iOS8.0 以降の iPad シリーズ
		対応 Mac	Mac OS X 10.10.5 Yosemite 以降の BLE 通信ができる MacBook シリーズ、iMac シリーズ、Mac pro シリーズ
	転送速度	最大 31.25 kbps (± 1 %)	
	レイテンシー (対ベースステーション)	5 ~ 12.5 ms	
		レイテンシー (iOS・Mac OS)	16.25 ~ 20 ms

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>